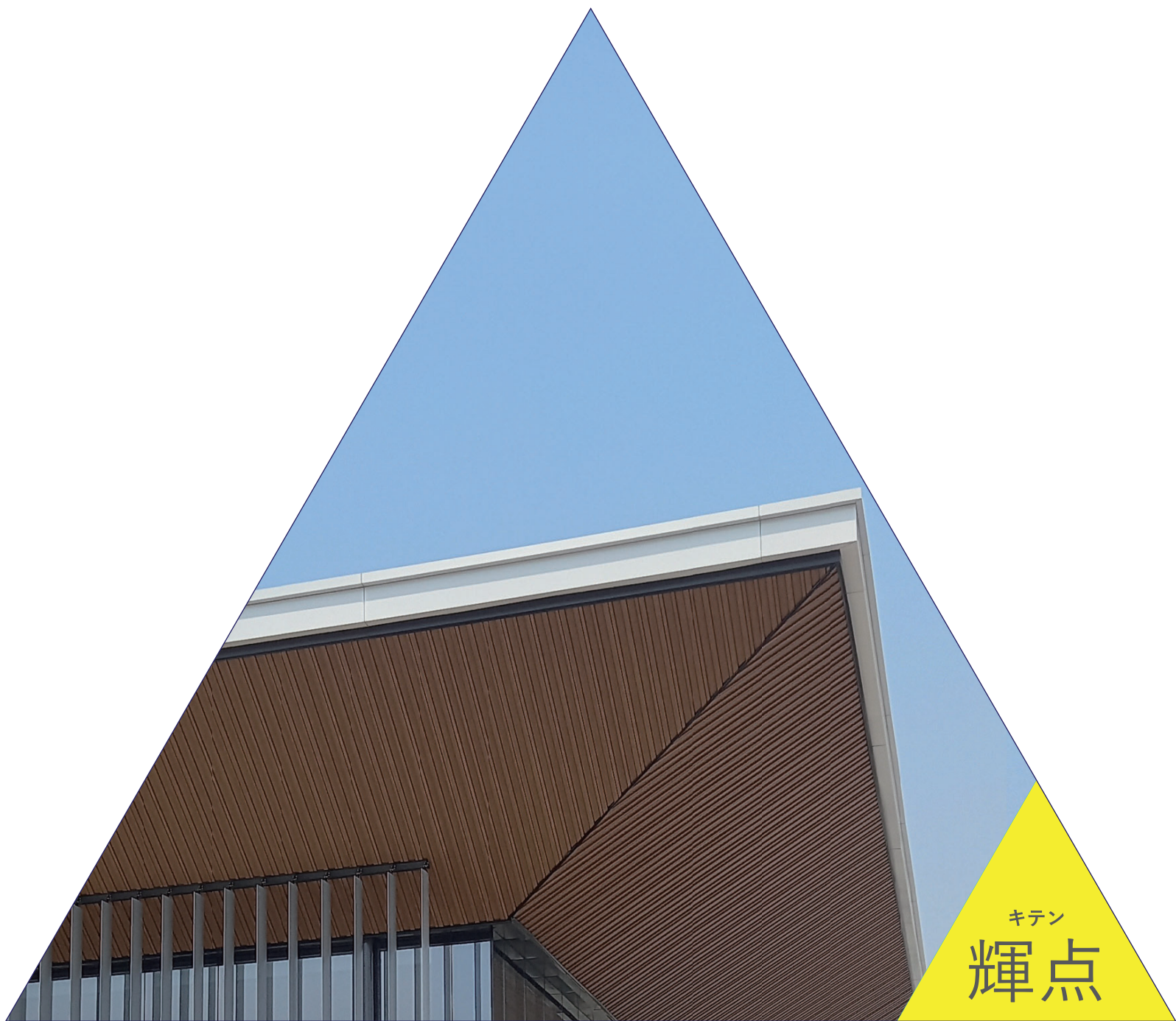


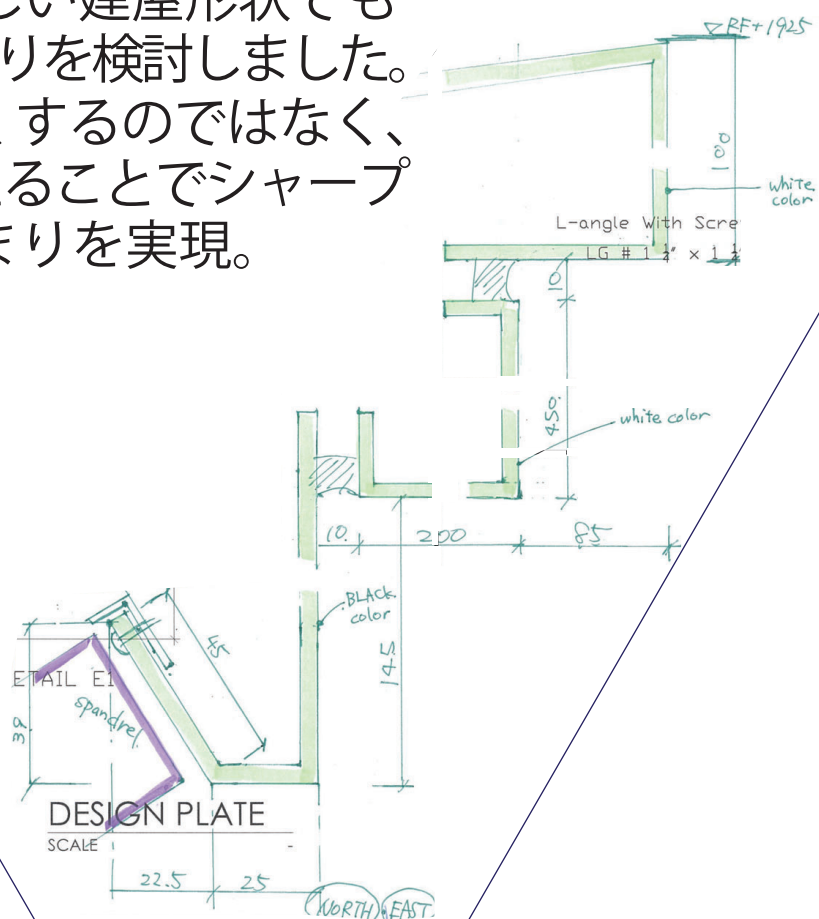
本プロジェクトは大規模かつ短工期ということもあり、多くのメンバーが関わり、タイスタッフ・日本スタッフが協力しあって、色々な課題を解決しながら、進めました。
多くのメンバーの気持ちと想いを纏める（束ねる）ことで完成したプロジェクトです。



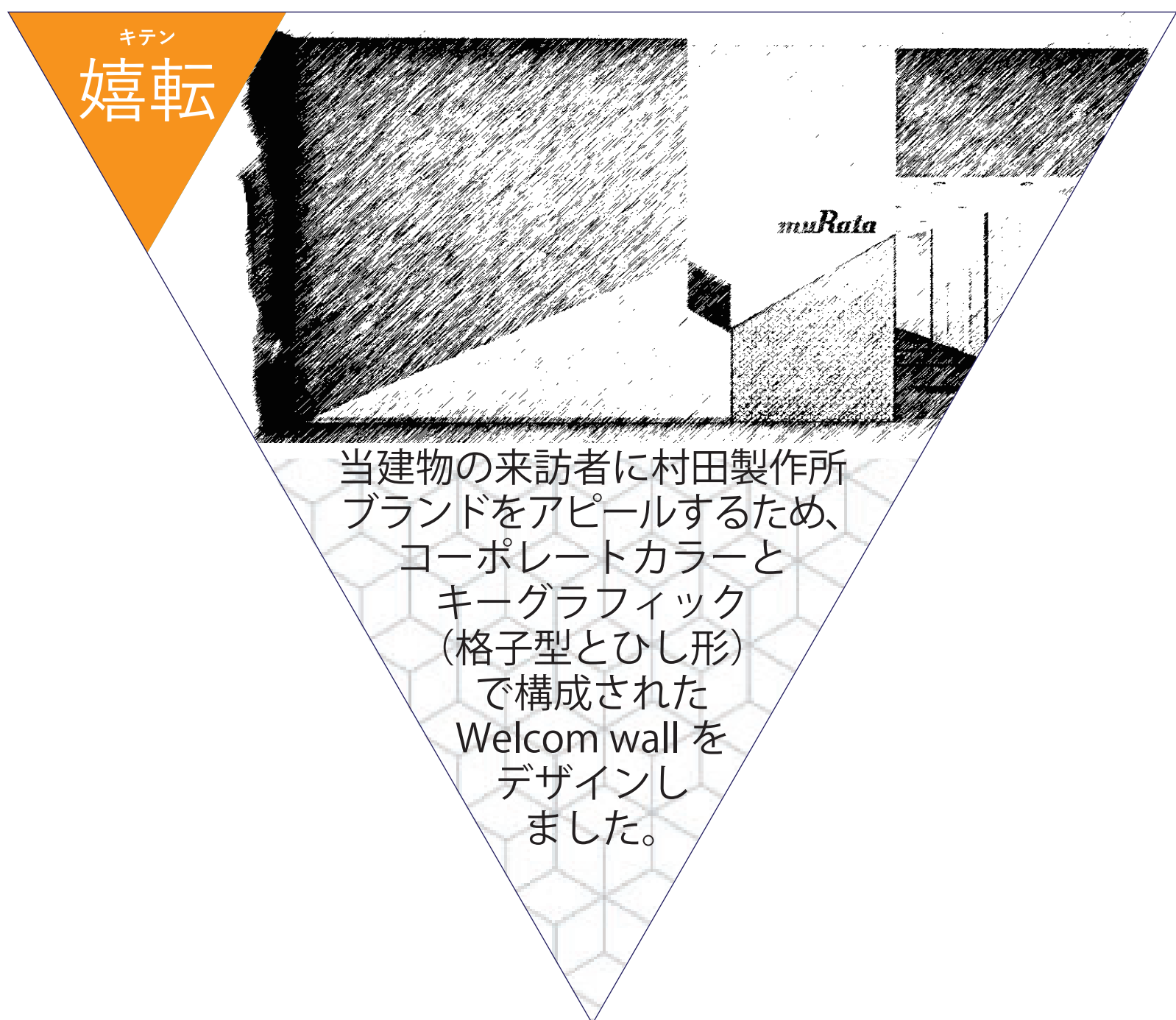
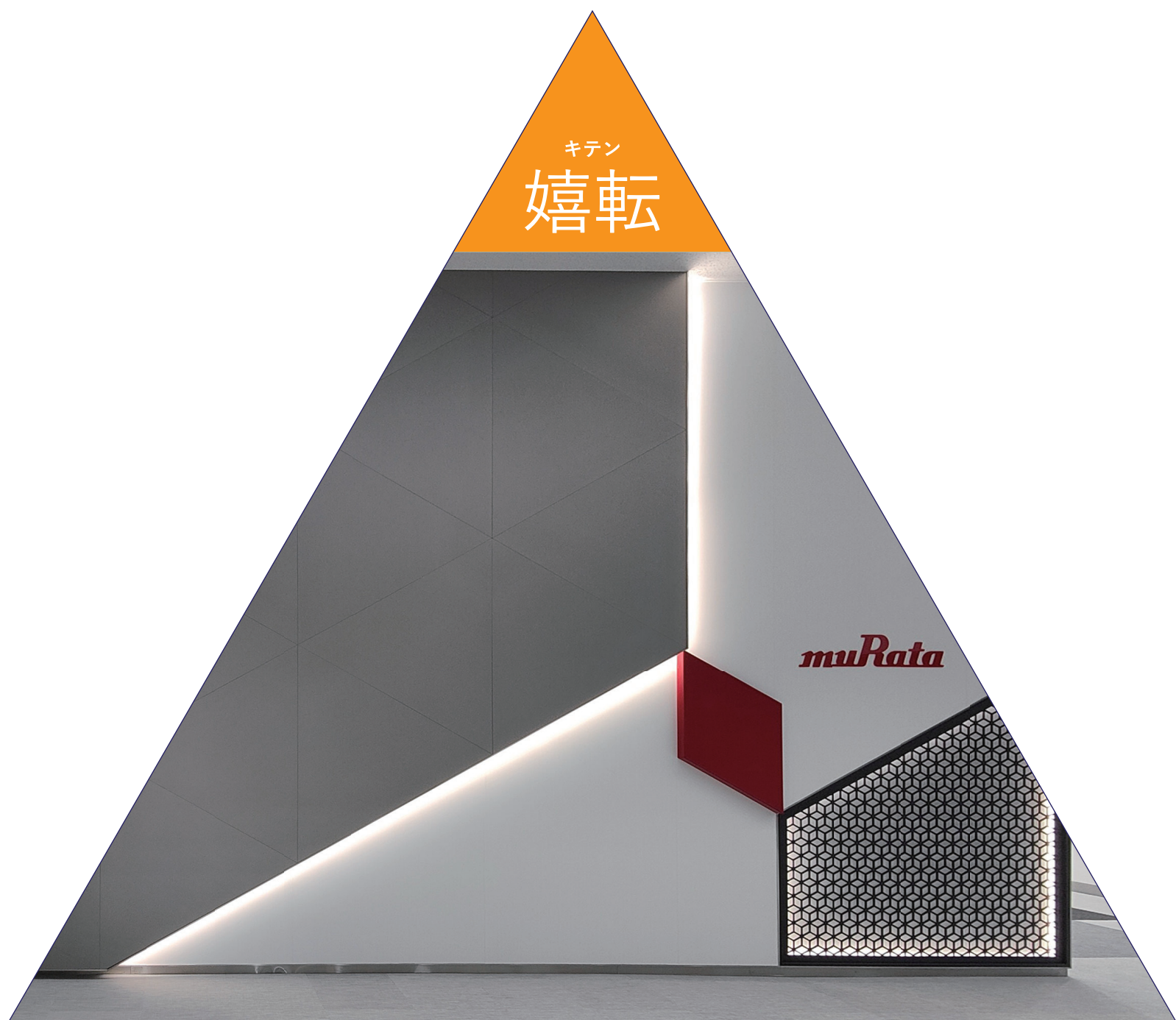
キテン
気纏

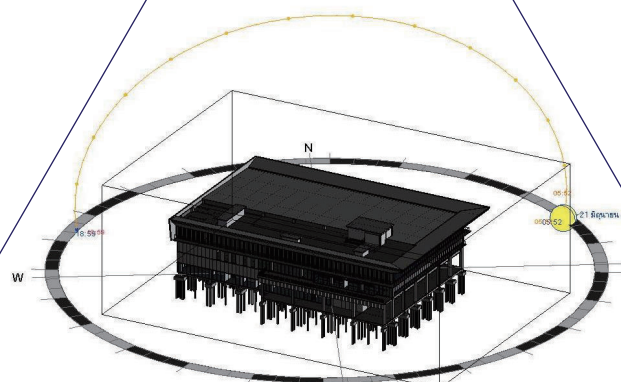


タイで施工が難しい建屋形状でも
綺麗に見える納まりを検討しました。
寸法を小さくするのではなく、
面や色を変えることでシャープ
に見える納まりを実現。



キテン
輝点



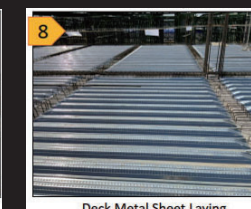


キテン
己唸

ルーバー形状を決定するのに悩みました。BIMで西日による熱負荷抑制検証を行い、奥行寸法のある型を選定しました。陰影のあるファサードというデザインコンセプトにも合致し、採用に至りました。

キテン
己唸

キテン 機転



タイでは一般的な RC 在来工法を採用予定でしたが、短工期の命題を受け、RC 梁をサイト PC 工法に出来ないか考えました。議論を重ねた結果、柱・梁接合部の品質や施工性向上に繋がりました。